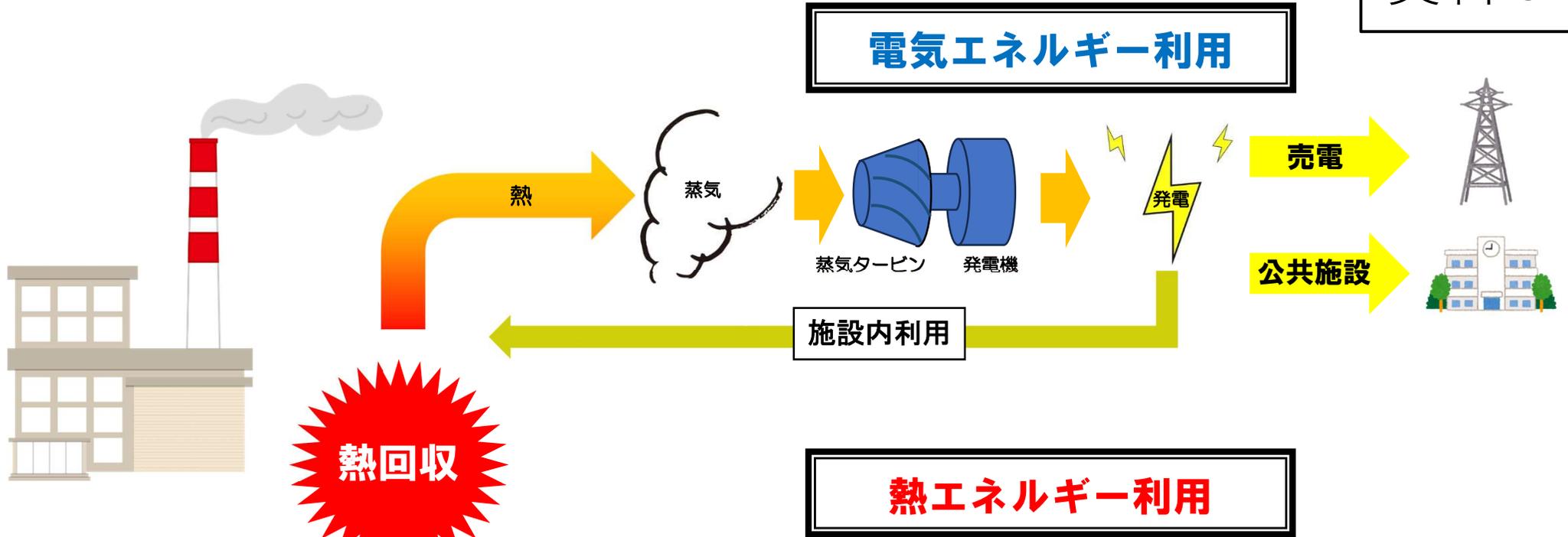


<可燃ごみ処理施設を設けた場合のエネルギー活用例>

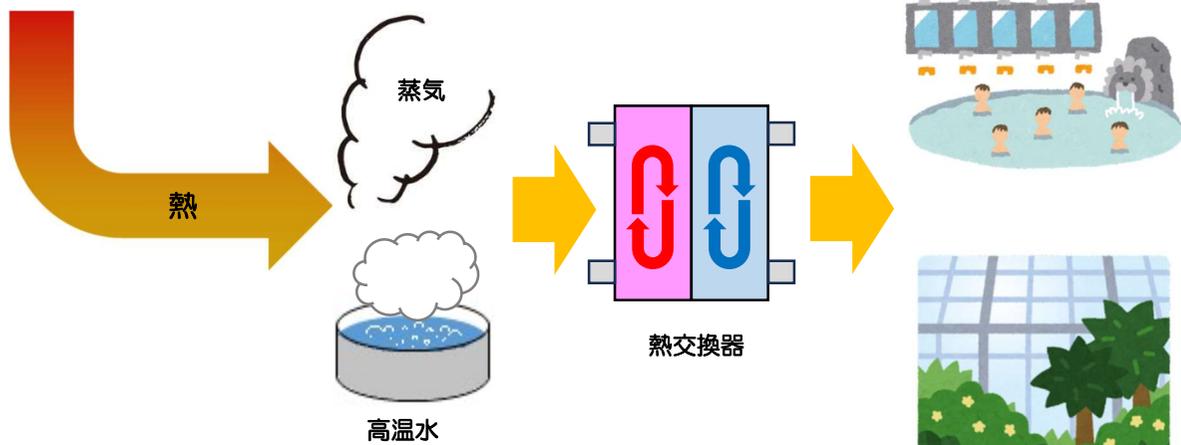
資料 3



熱エネルギー利用

可燃ごみ処理施設

**熱回収とは？**  
廃棄物を処理した際に発生する「熱」を回収して有効活用することです。  
これまで捨てられていた熱を再利用するため、化石燃料の消費量を削減することができます。



高温水や蒸気は熱交換器を介して、冷暖房・温水熱源としての利用が可能です。  
その利用方法は様々ですが、温浴施設、植物園などの他、公共施設等の冷暖房にも使われています。

## 可燃ごみ処理施設のエネルギー利用事例

No.	ごみ処理施設名	使用開始時期	処理能力	余熱利用施設名称	供用開始時期	主な余熱利用の方法
1	ふじみ野市・三芳町 環境センター	H28.10	142t/日	エコパ	H26.6	温浴施設、健康浴槽バーデプール等へ熱供給
2	東埼玉資源環境組合 第二工場ごみ処理施設	H28.4	297t/日	—	—	既設の草加市市民温水プール・老人福祉センター等へ熱供給
3	武蔵野市 武蔵野クリーンセンター	H29.4	120t/日	—	—	既設の総合体育館（温水プール）・市役所へ熱供給 公共施設・市立小中学校へ電気供給
4	安中市 碓氷川クリーンセンター	H10.4	135t/日	碓氷川熱帯植物園	H10.4	熱帯植物園へ熱供給
5	埼玉西部環境保全組合 埼玉西部クリーンセンター	R5.4	130t/日	—	—	発電した電力は場内で使用し、余剰電力は売電
6	太田市外三町広域清掃組合 クリーンプラザ	R3.4	330t/日	—	—	市立の公立小中高、義務教育学校42校への電気供給